

## 第4回中部国際空港将来構想推進調整会議検討部会 議事録

### 1 日時

令和3年11月2日（火）午後4時30分から午後6時10分まで

### 2 場所

愛知県三の丸庁舎 2階 アイリスルーム

### 3 出席者

加藤 一誠	慶應義塾大学教授
秀島 栄三	名古屋工業大学教授
中野 牧子	名古屋大学准教授（Web参加）
森 哲也	愛知県都市・交通局長
湯澤 将憲	岐阜県都市公園整備局長
板倉 秀昭	三重県地域連携部交通政策課広域交通企画班長
河田 誠一	名古屋市総務局企画調整監
内田 吉彦	名古屋商工会議所専務理事
小川 正樹	一般社団法人中部経済連合会専務理事
櫻井 俊樹	中部国際空港株式会社代表取締役副社長
各務 正人	中部国際空港株式会社特別顧問

#### <オブザーバー>

塩田 昌弘	国土交通省大阪航空局空港部長
駒井 繁利	国土交通省大阪航空局中部空港事務所長

### 4 主な議事

事務局から、空港の現況と第二滑走路の必要性、アクセス整備方策案の検証について説明を行い、意見交換を行った。

### 5 主な発言

- ・ 空港の現況と第二滑走路の必要性について、資料からは、2年あれば大規模補修は実施できるように見えてしまうが、その条件として、深夜便を飛ばせない日が生じることを明示しておかないと勘違いされるのではないかと。
- ・ 一般の人はコロナ禍で便数が少ない今、大規模補修ができるのではないかと考えると、深夜早朝時間帯の利用状況については、2019年のピーク時だけでなく、現在どうなっているのかも確認した方が良い。
- ・ ダイヤ上はメンテナンス時間を確保しているが、遅延や早着を考えると余裕があるわけではない。また、空港は安全が最優先なので、定期的にオーバーレイ工事（大規模

補修)を行うのは、予防保全という観点もある。貨物便の就航状況を踏まえると、夜間に滑走路を完全に閉鎖することは現実的でないため、毎年チェックしながら長く使えるようメンテナンスしてきたということである。

- 大規模補修と通常のメンテナンスの違いを比較するものがあると良いと思う。また、現滑走路を夜間に止めた場合、サプライチェーンへの影響があるとすると、それを検討できる資料があれば説得力が増すと思う。
- 仮に、大規模補修を行うために現滑走路を2年間止めた場合、撤退した貨物の拠点が2年後に戻ってくると言えるかは非常に難しいことを理解した上で議論しないといけないと思う。
- 空港に第二滑走路ができることによって経済を伸ばしていくという視点も盛り込んで補強することも大事だと思う。
- 完全24時間化に関して、経済界としては旅客だけでなく貨物も中部国際空港で増やしていく方向にならないかなと思う。現実的に成田国際空港などに流れている貨物は相当ある。需要がある、ないというよりも、24時間いつでも使える空港であることが、新しい便の就航につながり、このことが経済界の希望である。
- 完全24時間化の効果について、他空港の事例でも構わないので整理できると良い。
- 貨物だけでなく、旅客も取り扱い、夜間も使えることが空港の機能である。中部国際空港は旅客が増えており、貨物だけを取り出して議論するのはいかがなものかと思う。アメリカのメンフィス空港のような大きな空港でも、貨物需要は変わらないのに旅客が減っただけで落ち込んでしまった。また、滑走路のメンテナンス費用は旅客と貨物の共通費であり、旅客にも貨物にもプラスになっている。夜間の貨物だけの話をすると誤解される。
- アスファルトは永遠に持つわけではなく、高速道路においても閉鎖して打ち換え(大規模補修)を行っている。道路分野においては、予防保全を行った方が長期的には費用が少なくなるというデータもあるので、金銭面からは早め早めにメンテナンスした方が良い。予防保全することは、安全を保ち、お客さんへのサービスレベルを高める点で大変大事なことだと思う。貨物の拠点が簡単に移ってしまうことはその通りであり、現在は成田国際空港にどんどん集約されている。適度に分散されることも大事であり、成田国際空港に集中するという事は、中部地域から陸送される必要があり、トラックドライバーの負担やCO<sub>2</sub>の多量排出にもなる、という話もある。
- アクセス整備方策案の検証について、西名古屋港線を中部国際空港に伸ばすのであれば、点線で図示した方が良いのではないかと。現在の名鉄空港線は橋の上を通っているが、不通になることがあるので、地下線も作るという検討があっても良いのではないかと。
- 資料の総括に記載のある「アクセスの向上」という表現について、「アクセスの整備や利便性の向上」といった具体的表現としても良いのかなと思う。
- (空港島内にある)愛知県国際展示場で大規模イベントが行われる時の(アクセスへの)影響についても、検討いただけると良いのかなと思う。

- ・道路アクセスは、人の移動と物流を支えており、物流を通して地域に拠点を置いてもらえるよう滲み出せたら良いのかなと思う。
- ・鉄道アクセスの乗換利便性について、バリアフリーの観点も考慮できると良いのではないかなと思う。
- ・海上アクセスも重要で、空港の西側（三重県側）からのアクセスは、今後の中部国際空港にとってのキーだと思うので、アクセスのアクセス（三重県側の港までのアクセス）を考えていただくと良い。
- ・ハードとしての道路アクセスだけでなく、その道路を使用するバスなどの輸送手段についても検討できると良い。

以上